

新広告ビジネスとして代理店・パートナーを募集 消臭・抗菌・抗ウイルス機能シートを使ったトイレ内広告事業をスタート

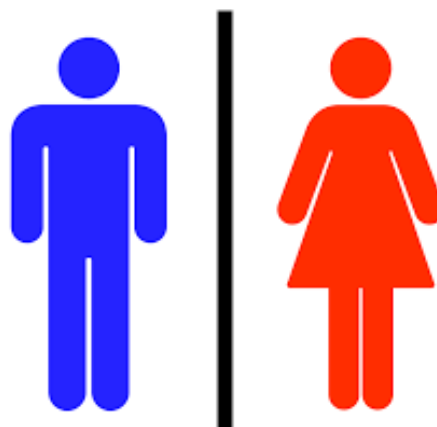
紙袋用取っ手の国内トップメーカー松浦産業（香川県善通寺市、代表取締役：松浦公之）は、フラッグス（熊本県熊本市、代表取締役：松江慎太郎）と共同で、トイレに特化した使用した新しい広告事業をスタートしました。コロナ禍で広告主減少、企業の広告費削減などで特に苦戦する地方広告代理店の皆さまに新たな広告ツールとして活用していただけたらと思っております。今後は、全国の官公庁、交通機関、ショッピングモール、オフィスビルなどのトイレ内のスペースを広告場所として広げていく予定で、一緒にこの事業を実施していくパートナーを募集しています。



熊本駅内トイレ（広告は、消臭・抗菌・抗ウイルスの機能を持ったシートを使用）

■なぜトイレ広告なの？ —トイレ×活字のアナログ広告は相性よし—アメリカ テキサス州ヒューストンにあるライス大学（William Marsh Rice University）が行った調査によると、「トイレでの広告は長期的に見て84%の顧客再来店率に繋がる」という結果がでているそうです。また広告が記憶に残る度合いも、他の手段と比べて40%ほど高いものになっています。

そこで、私たちは2018年から公的機関などで55,000枚以上（2021年8月時点）の導入実績がある消臭・抗菌・抗ウイルス機能をもった消石灰入りシート「アドレット®」を活用してアドレット®AD事業を開始することにしました。「アドレット®」はA4サイズの白いシートに印字ができることから、企業や団体の「広告宣伝ツール」として既に導入が開始されており、大変好評を得ています。



【本件に関する報道関係の皆さまからのお問い合わせ先】
松浦産業株式会社 PR 事務局（株式会社 PowerR-D 内）
武部：090-1631-8467 MAIL: press@power-d.tokyo

■広告費を算出するための“トイレの紙調率®（しちょうりつ）”

トイレの紙調率®は、特定のトイレがどれくらいの人に利用されているかを調べた指標です。

なぜ紙調率®を調べる必要があるの？

広告は掲載場所によって料金が変わります。それは場所によって人の目に触れる回数が違うからです。トイレも同様に、場所によって利用者数は変わります。トイレを広告場所として考えた場合、このトイレの紙調率®がとても大事になります。

どうやって紙調率®を調べるの？

使用されたトイレットペーパーの量で調べます。一回のトイレで使用するトイレットペーパーの男女別平均使用量からトイレの利用者数を割り出します

今後は、社団法人「トイレハッピー協会」を設立しトイレの広告事業をはじめ、この事業を共に行ってくださる皆さんと様々な取り組みを展開していきたいと考えています。

1回のトイレでのトイレットペーパーの平均使用量

	大便	小便
男性	3.15m	—
女性	3.52m	1.45m

※一般社団法人 日本トイレ協会調べ

↓

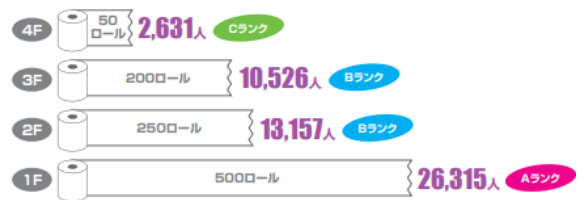
男性 3.15m **女性 1.9m**

※女性の5回に1回が大便と想定

【計算例】 場所：男性トイレ 期間：10日間 消費ロール数：100ロール（※1ロール100m）

100ロール × 100m = 10,000m 10日間で約3174人が利用
 10,000m ÷ 3.15 = 3174.6…… 1日平均約317人が利用

例 ある商業施設のトイレの紙調率（女性トイレ） 期間30日間



↓
 広告掲載料金を設定する際の目安になります！

Aランクのトイレ **Bランクのトイレ** **Cランクのトイレ**
 000円 000円 000円
1ヶ月間/1枚当たり 1ヶ月間/1枚当たり 1ヶ月間/1枚当たり

■「アドレット®AD」事業を広告コンテンツとして採用する5つのメリット

- ① 世代別（学生・ファミリー層・高齢者層）、男女別、階層別（観光客・ビジネスマン）が使用の多いトイレで広告主に合わせたメッセージの発信を実現
- ② これまで広告を出せなかった小規模、予算の少ない広告主にも安心な小ロット対応や、広告エリアを限定する等で費用のバリエーション提案が可能
- ③ 掲載日数を比較すると他の広告ツールよりも費用対効果は抜群
- ④ UV印刷で印刷が劣化せず、美しい状態を保つことができる
- ⑤ 手法はアナログだが、QRコードで広告主のホームページやECサイトへの誘導もできる

※「アドレット®AD」は実用新案取得、特許申請中です。



熊本市役所内トイレ



高松空港内トイレ

【本件に関する報道関係の皆さまからのお問い合わせ先】
 松浦産業株式会社 PR 事務局（株式会社 Power-D 内）
 武部：090-1631-8467 MAIL: press@power-d.tokyo

松浦産業株式会社は、紙袋の「取っ手」という皆さまの手に触れる身近な商品を扱っており、「私たちは、幸せを運んでいる。」をビジョンに掲げています。ビジョンはそのままに、D2C 事業、取っ手の技術を活かしたプラスチック成型品、衛生用品の製造に加え新たな広告宣伝事業に注力してまいります。

■会社概要

会社名：松浦産業株式会社

代表取締役社長：松浦公之

本社所在地：香川県善通寺市上吉田町 270-1

創業：1932 年 4 月 25 日

資本金：8,000 万円

従業員数：45 名（2021 年 6 月現在）

事業内容：PP・PE 延伸テープ及びロープ、紙袋用把手、タックハンドル、SP（販促商品）、成型品

ホームページ：<https://matsuura-sangyo.co.jp/>



1932 年にわら縄ロープ生産からスタートした松浦産業株式会社は、1966 年から PP・PE 延伸ロープ生産を始め本格的にプラスチック業界に進出しました。現在は紙袋用取っ手の国内トップシェアメーカーとして、食品・アパレル・小売など様々な業界の紙袋の取っ手やタックハンドル（ダンボールなどに直接貼るシールタイプの取っ手）を生産しています。また、プラスチックの成型技術を生かして、大型テーマパークのプラスチック容器や企業の販促商品なども生産しています。

「私たちは、幸せを運んでいる。」をビジョンに掲げ、松浦産業株式会社は創業から約 90 年、皆さまの直接手に触れる取っ手という商品を作ってまいりました。今後は、ニッチトップメーカーとして多様化する取っ手ニーズに対応しながらも、人々にとってより身近な衛生用品やプラスチック成型品事業、アドレット広告事業に注力していく予定です。